

徳田の歴史-8

八雲神社と宮さん田

1/2



宮さん田

徳田八雲神社跡碑

徳田(東)地区に八雲神社跡と書かれた碑が田んぼの片隅に建っています。大きさは四角柱で約17cm×12cm 高さ130cm です。昔はこの付近にこの名前の神社が存在していたと言われています。又碑の後方に見える付近一帯の田んぼは今でも通称“宮さん田”(正式字名は古川)と呼ばれており広さは約二町歩ほどあります。この名前の由来は、当時この神社の周辺に広大な田んぼが広がっておりそこで収穫されたお米等を定期的にこの神社にお供えしていたのでこの様な名前の田んぼになったと思われます。

又この神社跡地より数十メートル離れた西方向に現在も鎮神さんと呼ばれている小高い小さな森があります。昔はこの森の中には小さな社があつたと聞いています。八雲神社とこの鎮神さんは大きな関わりがあつた様です。(鎮神さんについては徳田の歴史-5参照下さい)



畑地区八雲神社跡碑

又畑地区にも徳田地区同様の八雲神社跡の碑が建立されておりこの近辺にも神社が存在していたことが伺えます。

これら二つの八雲神社は大正時代の初め頃(大正6年)に徳田垣外地区に既に存在していた横道下神社ヨコミチ、オリジンジャに合祀され、今も徳田町民の氏神様として大勢の人々が参詣しています。

又この時期、八雲神社以外にもいくつかの神社がこの横道下神社に合祀されて今は複数の神様が祀られています。

※ 八雲神社:祭神は建速須佐之男命タテ ハヤス スサノオノ ミコト

※ 横道下神社:祭神は天忍穂耳命アメノ オシホ ミノミコト(平安時代より存在)

以上は地元の年配の方々のお話を参考にしています。

H.A